

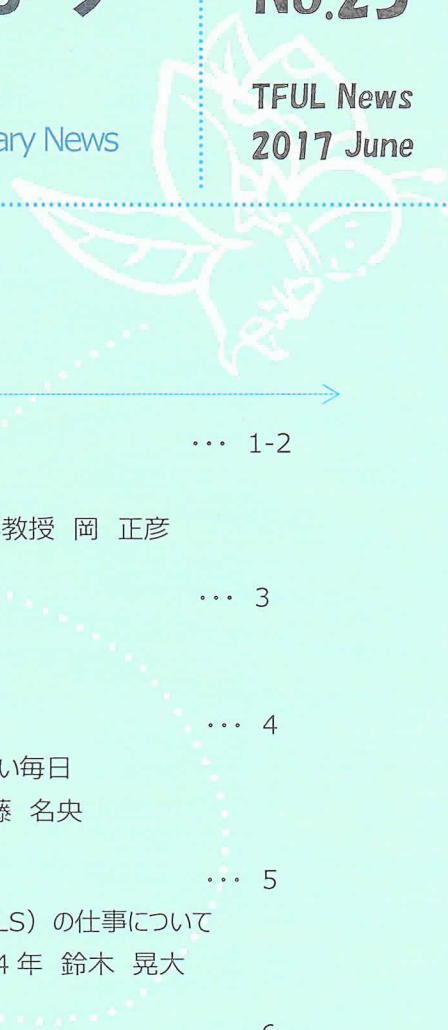
としょかんぽう

No.25

東北福祉大学図書館報
Tohoku Fukushi University Library News

TFUL News
2017 June

◇ Table of Contents ◇

- 
- ❖ ブックレビュー … 1-2
古代・中世・現代のトイレ考
産業福祉マネジメント学科教授 岡 正彦
- ❖ 絵本 de 料理 … 3
とびらをひらく呪文のパン
- ❖ わたしの本棚 … 4
人よりちょっとだけ生きづらい毎日
ウェルネス支援室 佐藤 名央
- ❖ どんな仕事 … 5
ライブラリーサポーター（LS）の仕事について
ライブラリーサポーター4年 鈴木 晃大
- ❖ 図書館みらい予想図 … 6
第2回 理想的な図書館
- ▣ 図書館からのお知らせ … 7
編集後記



ブック レビュー

ー 古代・中世・現代のトイレ考 ー

御手洗 流水

(産業福祉マネジメント学科教授 岡 正彦)

日本建築の各部位などをテーマにしたシリーズ本『物語/ものの建築史』が 1986 年当時出版されています。

例えば、日本壁のはなし、畳、風呂、台所、窓、屋根など、日常生活の中でなじみの深いものが対象となっています。今回ブックレビューとして紹介するのは、「物語/ものの建築史 便所のはなし」です。末巻カバーには、“現代は「トイレ革命」の第二段階に達しているといわれる。第一次は和式から洋式への移行、第二はお尻を洗う便座の普及である。しかし、あまりにも機能優先に走りすぎ、トイレの文化的側面がなおざりにされているという指摘もある。それ故、ここでトイレの歴史をふり返り、文化を学ぶことが必要となってくるのである。”

この本が刊行されてから 30 年程になりますが、現代のトイレ事情は、技術的な進歩とともにイメージも様変わりしています。度重なる大規模災害の教訓から、災害時などの非常用簡易トイレが自治体や企業だけでなく一般家庭でも購入されていることは承知の通りです。また、2006 年に施行されたバリアフリー法が契機となり、高齢者、障害者等を含む多様な利用者のためのユニバーサルデザインをコンセプトに多機能トイレが広まり、グッドデザイン賞を受賞するようなトイレ空間の設計も出現しています。まさに、トイレは第三段階、第四段階に達しているのです。しかし、本書が指摘しているようにトイレの歴史を振り返り文化を学び、人間の尊厳にかかわる排泄について一考する機会を得てほしいと思い、この本のレビューを書くことにしました。

「便所」の歴史に焦点を当てた本書の面白さは、古代文献の古事記に記された神武天皇の時代まで遡るところから始まっています。驚愕すべきは、水洗便所がこの時代

からあったということです。水で流す水洗便所が「^{かわや}廁」の語源だと言われており、室町時代の『^{かがく}下学集』によれば、河の上に架けて不浄を流す。古来の人はすべての汚れを水で流し去りました。これは、水の豊富な地形を利用して水の自浄作用による汚物処理が便利で安全だったからと考えられています。

また、文化財に指定された建造物、特に重要文化財として歴史上、学術的に価値の高い国宝に指定された便所の話も興味深いものとなっています。

具体的には、東福寺東司^{とうす}(京都市東山区)は、室町時代につくられた日本で最古の最大の便所の遺構です。「東司」は、便所を表しています。禅宗では、七堂伽藍^{しちどうがらん}の一つとしてトイレも大切な思考・修行する清浄の場所として重要視されていました。その他にも沖縄の食習慣の影響を受けている中村家住宅ふる(沖縄県)などがあります。

「便所」をテーマにした図書を選定しましたが、内容の全てを水に流さないで興味を持って、一読していただきたい。『日本トイレ博物誌』とともにス・イ・セ・ンします。

『便所のはなし 物語ものの建築史』

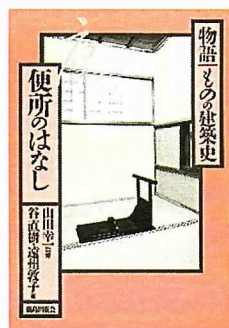
鹿島出版会

山田 幸一 監修

谷 直樹, 遠州 敦子 著

所 在：学生閲覧図書

請求記号：527.6/タニ/学閲



※ この記事で紹介された『日本トイレ博物誌』は、仙台市図書館で利用ができます。

絵本 de 料理

ー とびらをひらく呪文のパン ー

絵本の食べ物と聞いて皆さんは何を思い浮かべるでしょうか。ぐりとぐらのカステラ、バムとケロのパンケーキ。他にも色々ありそうです。子どもの頃、絵本に出てくる食べ物を食べたいと思ったことはありませんか？

そんな思いを実現させるために私が作っているのは『ダヤンのミステリークッキング』に出てくる「とびらをひらく呪文のパン」。ダヤンを飼っていたリーマちゃんにおばあちゃんが作ってくれたもので、「不思議な国わちふいーど」に行く為のパンですね。

本を見ながら進めていきましょう。

【材料】

小麦粉（薄力粉）……2カップ
重曹（ベーキングソーダ）……小さじ1
プレーンヨーグルト……1カップ
レーズン……40g　くるみ……40g
砂糖……大さじ3　粉砂糖……少々

※ ダヤンは“ウンジャラ、モンジャラ”と呪文を唱えながら木じゃくしで混ぜています。一緒にやってみましょう！



ウンジャラ～♪モンジャラ～♪



「ドウバーリ
ドウバーリ
ひらけよ
とびら！」



扉を開けることは
できたのでしょうか？

【作り方】

- ①くるみを包丁できざむ。レーズンはぬるま湯でふやかす
- ②小麦粉と重曹をあわせてふるっておく
- ③ボールにプレーンヨーグルトを入れ、砂糖を加えて、くるみとレーズンも入れてよくまぜる。
- ④③のボールにふるった粉を入れてまぜあわせる
- ⑤天板にオーブンシートを敷き、その上にタネを置く
- ⑥190℃のオーブンで色がつくまで20分焼く
- ⑦できあがったら粉砂糖を上からふりかける
(呪文用に少しかけるだけ)

私事です、重曹を使うのが初めてだったので限りなく不安でした。なんとか上手く焼きあがってくれたので一安心。図書館の他職員に試食してもらったところ、概ね好評だったようです。お手軽なのでぜひ作ってみてくださいね。

(閲覧係：鈴木 純平)



『ダヤンの
ミステリークッキング』

ほるぷ出版

池田 あきこ、佐藤 和代 著

所 在： 絵 本

請求記号：726.6/イケ/絵本

ー 人よりちょっとだけ生きづらい毎日 ー

青い空を見て「消え去りたいなー」と思う、そんな経験はありますか？

この本の主人公の佐藤ひなちゃん、通称ひーちゃんは短大に入学したばかりの 18 歳。人よりちょっぴり、人生を生きづらいと感じている女の子です。日々起こるいろんなことに傷つき、落ち込み、心のキャパシティーは常にいっぱい。でも、道端の花を見てちょっと元気になる、これはそんな「どこにでもいる」女の子のお話。

本の中では、新年度の人間関係大シャッフルに恐怖したり、周りのみんながいつのまにか仲よくなっていることに焦ったり、グループワークに怯えたり、日々心のHP(体力)^{エイチピー}が0に近い状態で過ごしているひーちゃん。思い悩みすぎてだんだん哲学っぽくなったり、社会に出る自信がなかったり、たいした理由があるわけではないけれど日常も非日常も怖かったり、この世の全てに申し訳がなく思ったりなどなど、常に頭はフル回転。ある意味エネルギーに動き回るひーちゃんを見て「あ、何かわかる」と思う方も多いかも……？ ちなみに2巻には、おそらく東北福祉大学がモデルと思われるTF大学が登場します！自分を主人公のひーちゃんに投影したという作者の伊東さんは、巻末のあとがきで「大人になった

わたしの
本棚



『今日もかるく
絶望しています』

株式会社 KADOKAWA
伊東 素晴 著

所 在： ベストセラー

請求記号： イト//ベストセラー

※ 上記の続編 2 巻も所蔵しています。

現在も決して生きやすい毎日ではありませんが、あの頃の自分に『それでも大丈夫だよ』と言ってあげたいです。』と言っています。この紹介文を読んだあなたにとっても、自分自身に『それでも大丈夫だよ』と言ってあげられる材料になるかもしれません。よかったら読んでみてくださいね。

(ウェルネス支援室：佐藤 名央)

※ HP・・・ヒットポイントの略。ゲームのキャラクターの健康状態を表す数値。
「英辞郎 on the web」より。

LSって どんな仕事？

ー ライブラリーサポーター（LS）の仕事について ー

皆さんこんにちは。突然ですが皆さんは「LS」というものを知っているでしょうか。「LS」とは東北福祉大学図書館の学生アルバイトのことで、「ライブラリーサポーター」の略称です。

今日はこの「LS」がやっている仕事について紹介していきたいと思います。「LS」の主な仕事は、やはり本の貸出・返却処理です。この作業については利用者の皆さんも容易に想像がつくのではないかと思います。では、その他には何をしているのか。例えば「本の配架」です。簡単に言えば返却されてきた本を書架（本棚）に戻しに行くことです。これが意外と大変で、請求記号を確認してその書架に向かう。

「ああ、通り過ぎてしまった。」

あ、でも本がきれいに並んでないから少し整理しよう。

……よきれいだ。で、何をしに来たんだっけ？」

このように素直には終わってくれません。



2F カウンター

ですが、こんな本もあるのかと意外な出会いに恵まれたりするので悪い事ばかりではありませんし、むしろ楽しいです。

他にも仕事はたくさんありますが、文字数制限というものに阻まれ残念ながらここまでのようです。図書館 2F でのカウンター業務等、「LS」の仕事はどれも楽しいものばかり。



書庫

私は特に書庫本を探しに行く仕事が好きです。書庫にはたくさんの書架に数え切れないほどの本が並んでいます。本来の目的を忘れてしまいそうになるくらい本好きにはたまらない場所です。学部生の皆さんは入れず「LS」のみが入ることを許された場所。

羨ましいでしょう？書庫に入ってみたければ「LS」になるしかありませんよ。図書館に興味がある方や本が好きだという方にとってもおすすめできる仕事です。毎年募集がありますので是非どうぞ。

（ライブラリーサポーター：鈴木 晃大）

－ 第2回 理想的な図書館 －

“学びが見える、学びに触れる、学びあえる”

－これは、2016年4月1日に開館した立命館大学平井
嘉一郎記念図書館のコンセプトです。

広いラーニング・commons、ガラスで仕切られたセミナールーム、様々な形態の個人閲覧席など、学びのスタイルに応じて色々な使い方ができる、学生の皆さんにとっては理想的な空間といえるでしょう。

建設の段階から学生の間で「パルテノン神殿みたい」と話題になったという美しい外観なのですが、何よりも目を奪われるのが、建物に入ってすぐに目に入る“ライブラリーバレー”です。一体どんなものを想像しますか？実はこれ、写真では分かりづらいのですが、

書棚を一望できる、建物中央部に設置された3層吹き抜けの空間なのです。来訪者が書棚を一望できることで学びが刺激され、まさにコンセプトの狙い通りのことが図書館で繰り広げられるというわけです。この空間、実際に目にすると本当に圧巻です。



ライブラリーバレー



3階閲覧室

最近の大学図書館の特徴といえば、ゾーニングです。下の階は明るく開けた空間にし、上の階に行くほど落ち着いた色合いの絨毯や家具にするなど、階ごとに異なるコンセプトを持たせることが主流です。不思議なことに、“この階はこういう使い方をしてくださいね”と

いう説明がなくても、絨毯などの色やそこに滞在している利用者の空気が、そこでどう過ごしたらよいのかを教えてくれ、使う側は自然にその空間に馴染むようです。立命館大学でもそのような様子が感じられ、ゾーニングの効果を実感しました。

さて皆さんは、福祉大図書館が新しくなるとしたら、どんな図書館が理想ですか？

図書館からのお知らせ

☆夏季休業中の長期貸出

期 間：平成 29 年 7 月 20 日（木）～

返 却 日：平成 29 年 9 月 14 日（木）

対象資料：図書

＊ベストセラーも含む。貸出冊数は通常と同じ。

変更の際は、図書館内掲示・HP 等でお知らせします。

☆図書館 HP リニューアルのお知らせ

4 月から図書館 HP をリニューアルしました。スマートフォンからでも閲覧可能となり、便利になりました。

どうぞご利用ください。

☆展示情報

・実施中の展示・・・2F フロア「キラキラ図書館 World」
期間：5 月 11 日（木）～6 月 14（水）

・今後の展示予告・・・2F フロア「大学生に効く本」
期間：6 月 22 日（木）～8 月 4 日（金）

＊展示の日時や詳細は、変更することがあります。

－ 編集後記 －

今回のブックレビューは、産業福祉マネジメント学科の岡正彦教授、わたしの本棚はウェルネス支援室の佐藤名央さんにご寄稿して頂きました。誠にありがとうございました。

さて、慌しかった 4 月から 2 ヶ月が経ち、入学・進級された皆さんはいかがお過ごしでしょうか。（入学された方のために少し宣伝・・）図書館では年に 2 回、6 月と 12 月にこの「としょかんぼう」という広報誌を発行しています。内容は、先生や職員からの本の紹介、図書館や本に関する旬な話題 etc～。どの記事も堅い読み物ではないので、気軽に手に取ってもらえたらなあと思っています。

最後に・・「絵本 de 料理」で再現されたダヤンのパン。とっても美味でした。皆に大好評でしたよ☆

《五十嵐・鈴木・八巻・菅原》

東北福祉大学図書館報「としょかんぼう」No. 25 2017 年 6 月

編集・発行 東北福祉大学図書館 〒981-8522 仙台市青葉区国見 1-8-1

TEL: 022-717-3309 FAX: 022-717-3309

E-mail: etsuran@tfu-mail.tfu.ac.jp

<http://www.tfu.ac.jp/libr/>